

決算説明資料 2021年3月期

ニッタ株式会社



2021年5月17日



ニッタ株式会社

Copyright © NITTA CORPORATION All Rights Reserved.



連 結			2020/3期	売上比	2021/3期	売上比	増減額	増減率
			(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売	上	高	83,861	100.0	78,697	100.0	▲ 5,164	▲ 6.2
売	上	原 価	63,282	75.5	59,836	76.0	▲ 3,445	▲ 5.4
売	上	総 利 益	20,578	24.5	18,860	24.0	▲ 1,718	▲ 8.4
販		管 費	17,051	20.3	15,999	20.3	▲ 1,052	▲ 6.2
営	業	利 益	3,527	4.2	2,861	3.6	▲ 666	▲ 18.9
経	常	利 益	7,543	9.0	5,910	7.5	▲ 1,632	▲ 21.6
当	期	純 利 益	6,148	7.3	4,723	6.0	▲ 1,424	▲ 23.2
設備投資額			2,952		2,533			
減価償却費			2,727		2,857			
研究開発費			2,010		1,819			

○売上高

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自動車業界向けや工作機械業界向けの需要が低調

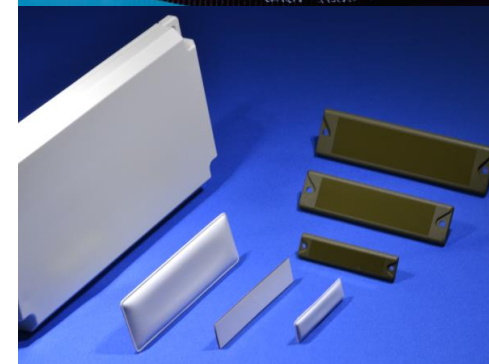
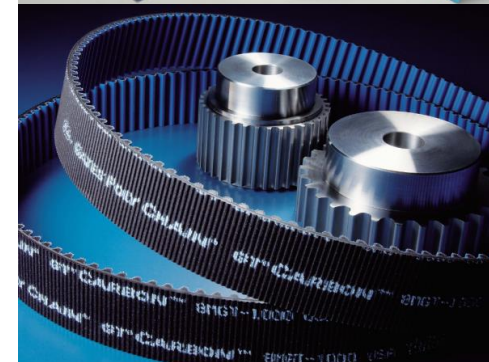
○営業利益

- ・出張及び各種活動の自粛など経費削減に注力するも売上高の減少により減益

○経常利益

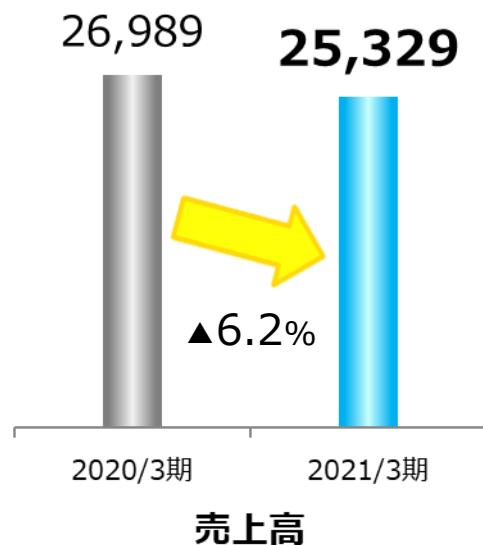
- ・自動車業界向けの需要減や持分法適用会社であるゲイツコリアCO.,LTDの閉鎖に伴う費用の発生により持分法投資利益が減少

国内は、物流業界向けや半導体業界向けが堅調
金融機器向けや工作機械向けが低調
海外は、物流業界向けや郵便業界向けが堅調



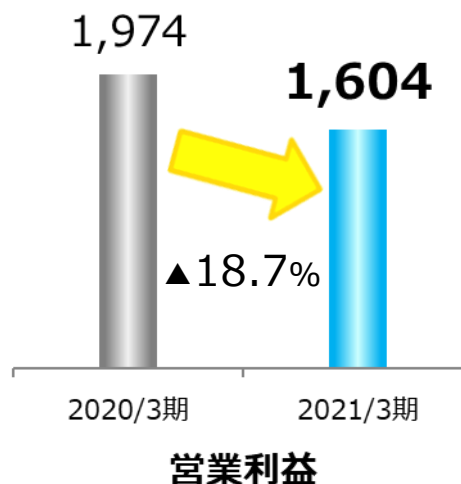
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)



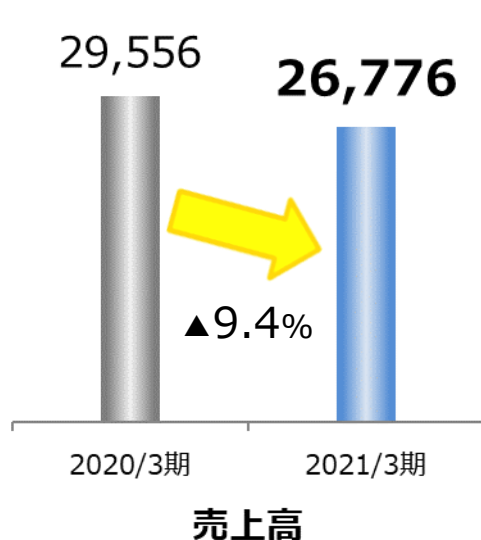


国内では、半導体製造装置向けが堅調
自動車業界向けは下期に回復したものの前年比減少
海外は、中国で第2四半期以降、建設機械向け需要が回復したものの、北米や韓国で自動車業界向けを中心に低調



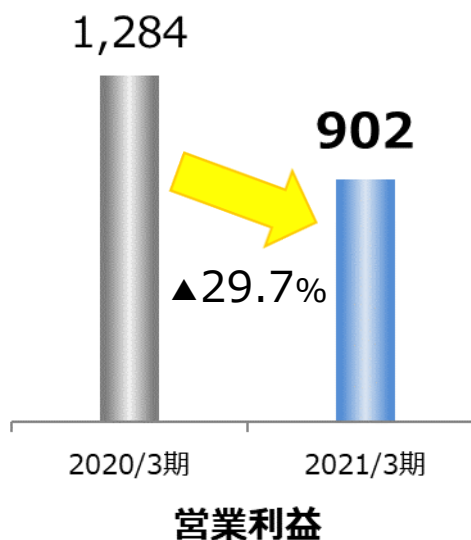
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

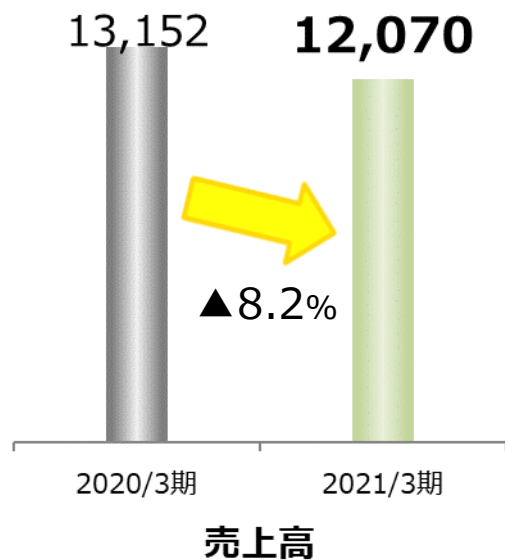
(単位:百万円)



国内は、鉄道車両向け高機能製品が堅調
産業資材や防水資材、建設資材製品が低調
海外は、OA機器向け高機能製品が低調

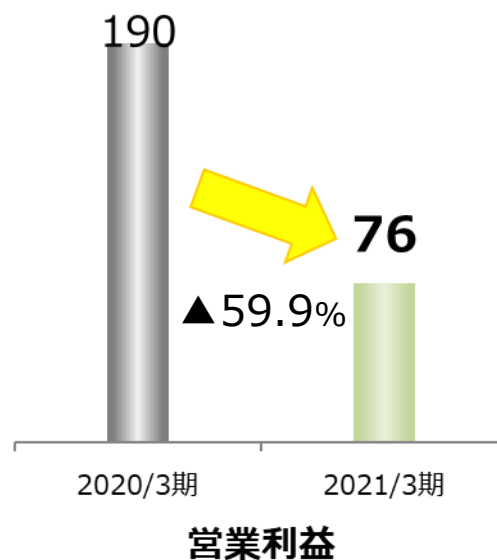
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

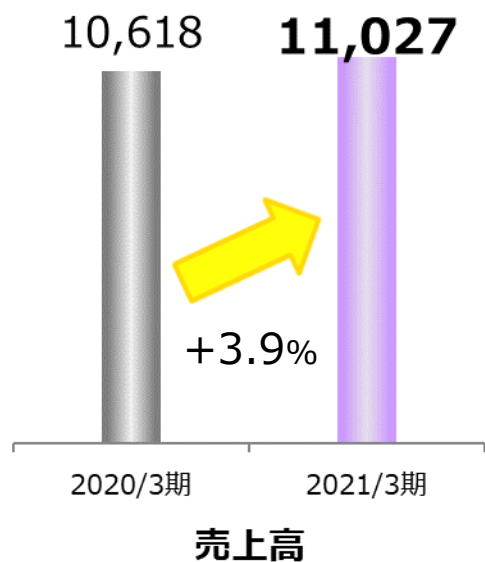
(単位:百万円)



空調製品は、測定器の需要が堅調、検査キットが好調
フィルタの新規建築物は低調
感温性粘着テープは、電子部品製造向けが好調

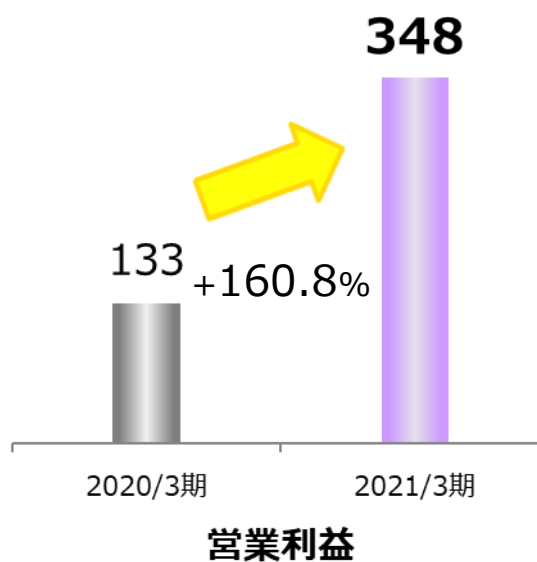
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

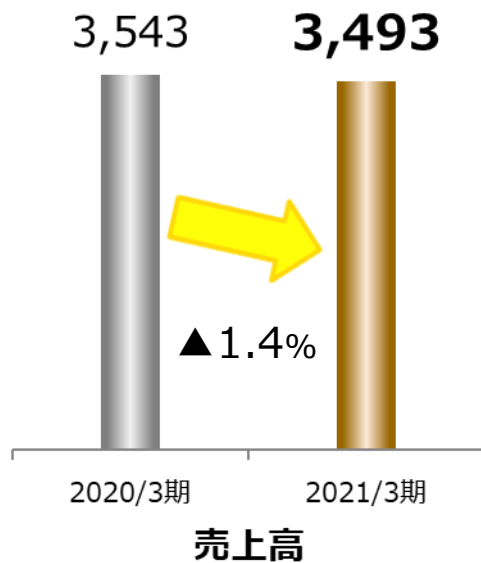
(単位:百万円)



不動産事業・自動車運転免許教習事業は、
新型コロナウイルスの影響でやや低調

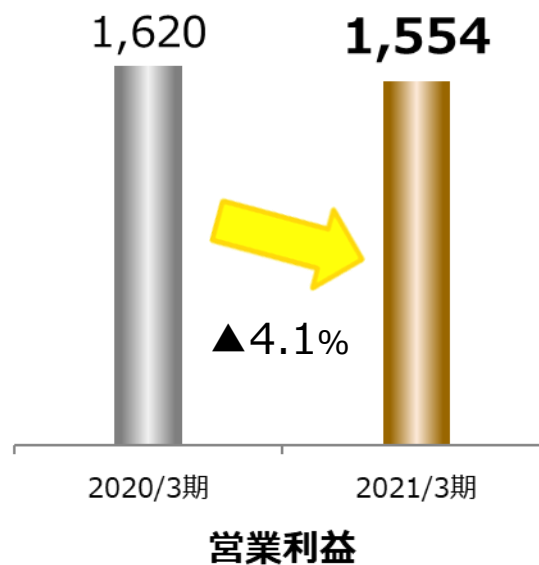
売上高

(単位:百万円)

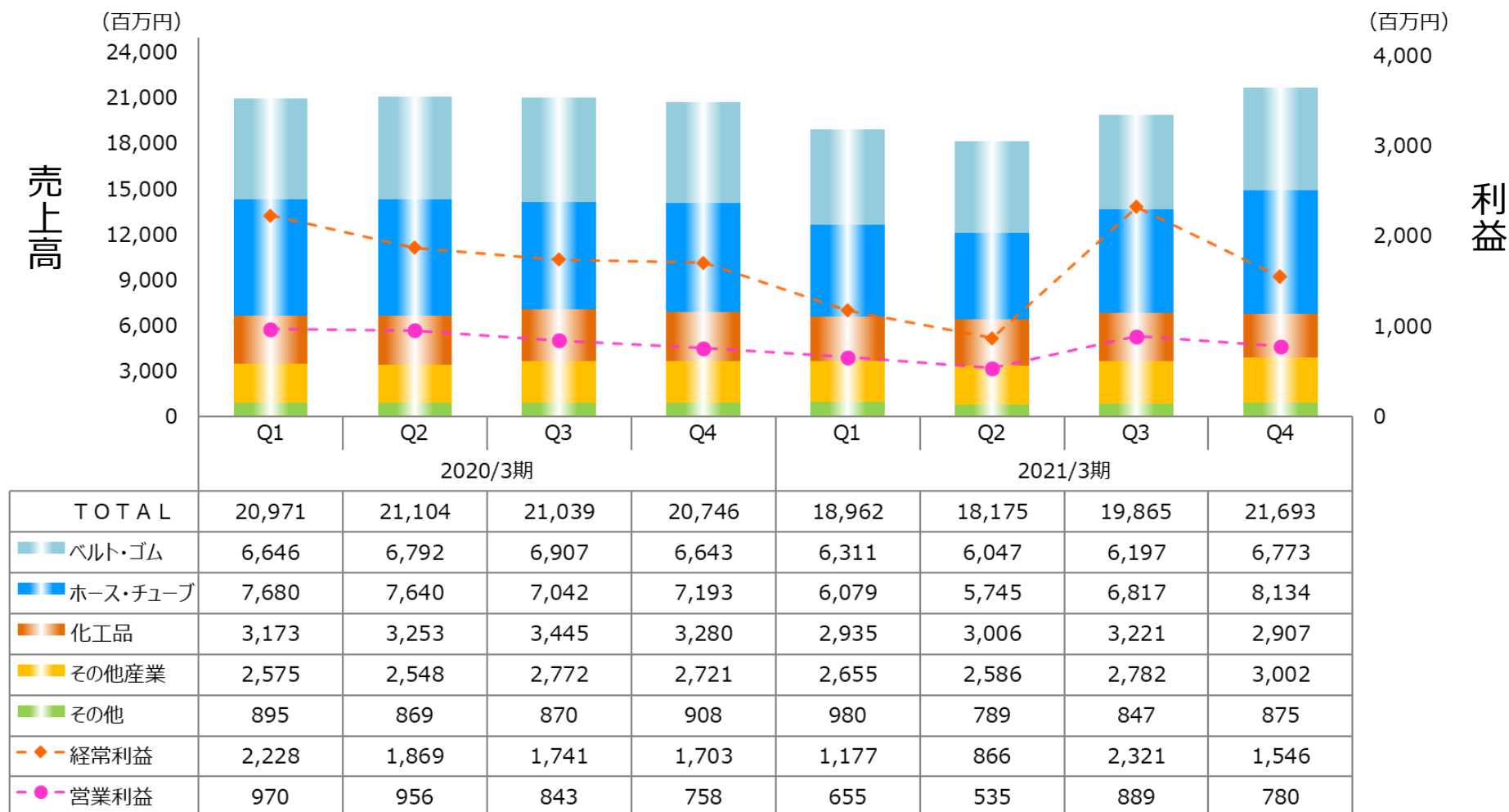


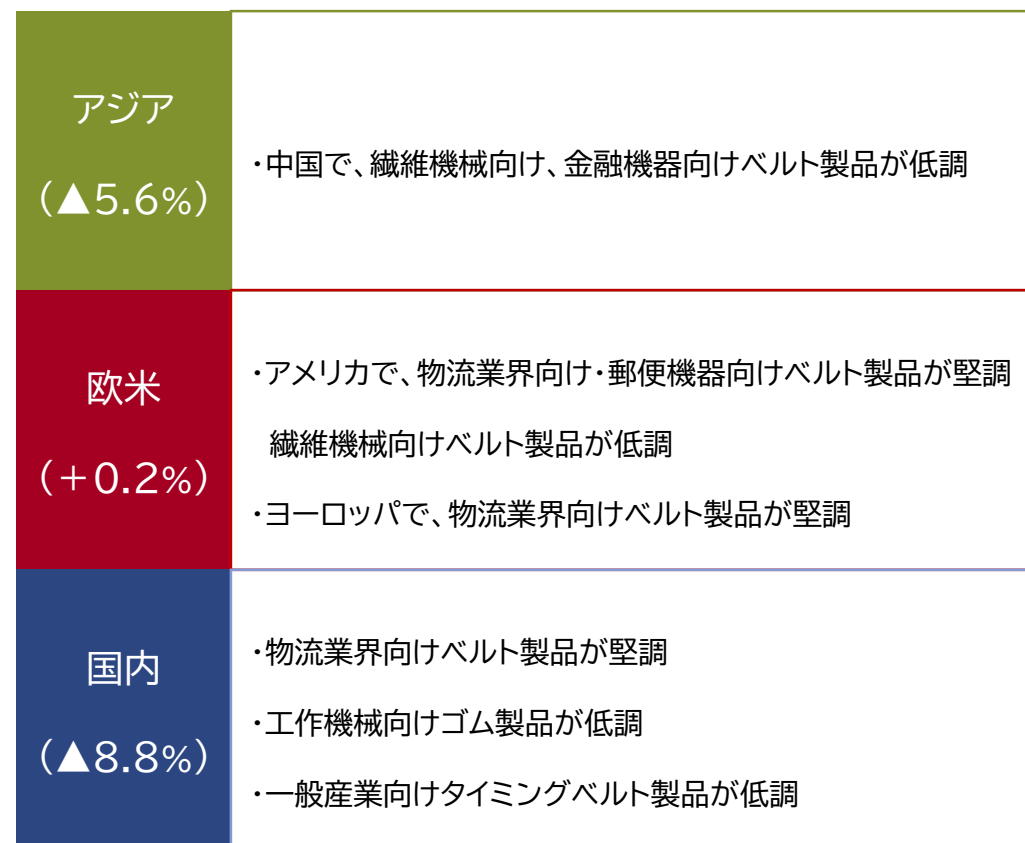
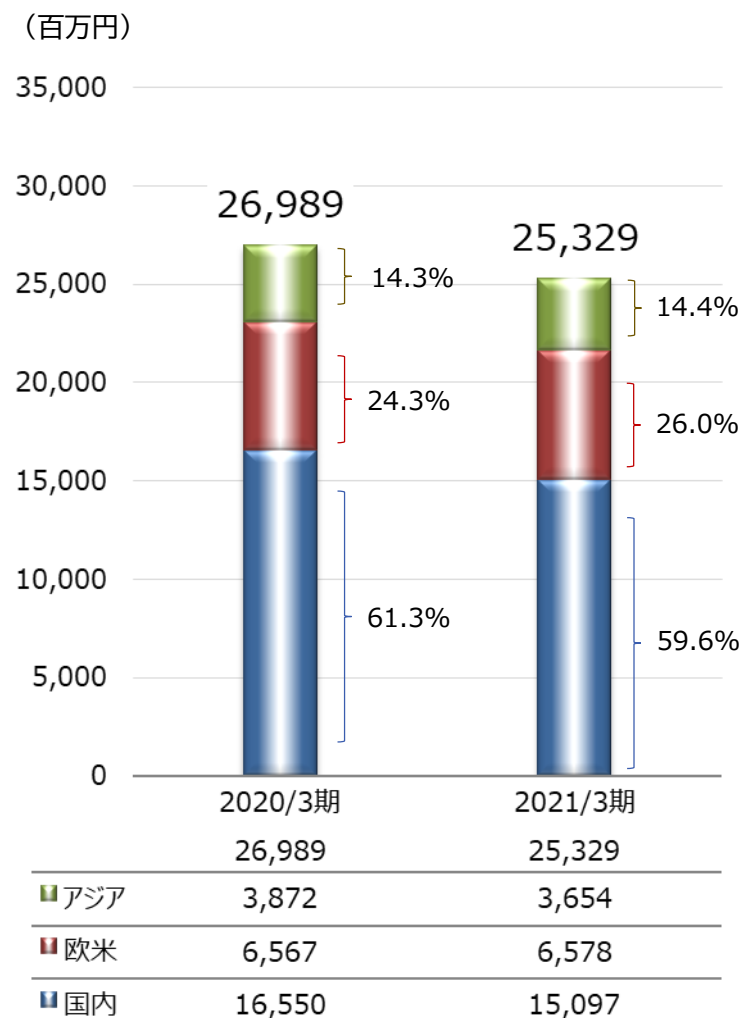
セグメント利益

(単位:百万円)



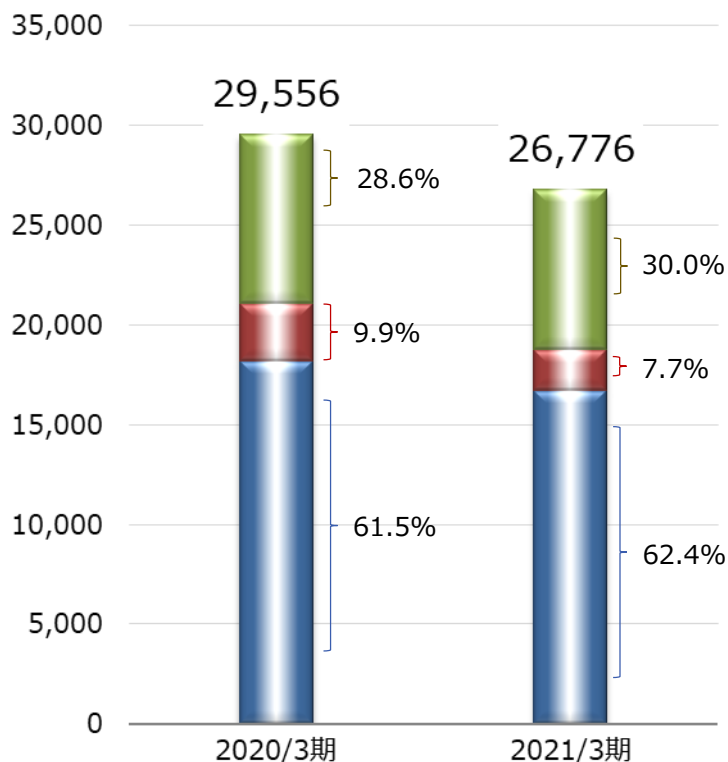
当第2四半期は、ゲイツコリアCO.,LTDの閉鎖に伴う費用の発生により持分法投資利益が減少
 当第4四半期は、中国の持分法適用会社の合併契約に準じた利益配分の見直しによる影響で減少





カッコの数値は前年同期比増減率

(百万円)

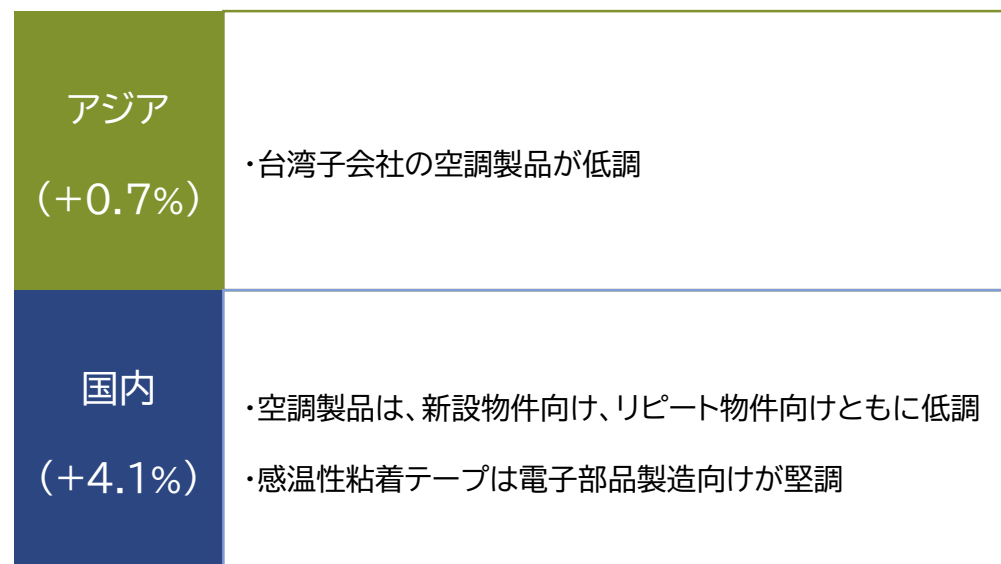
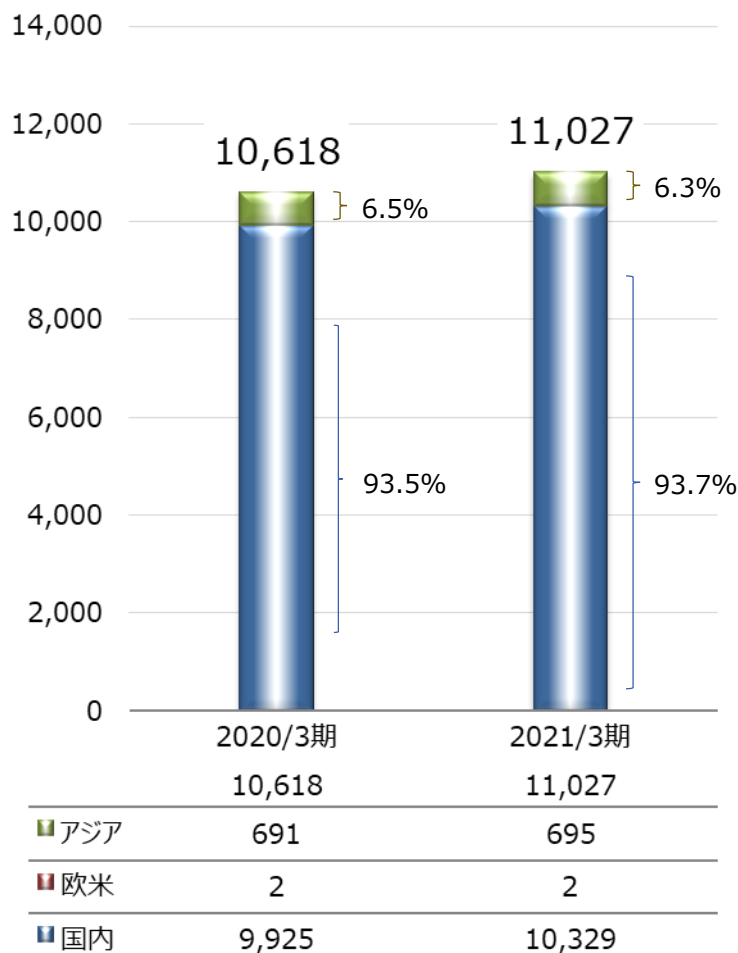


	2020/3期	2021/3期
アジア	8,455	8,021
欧米	2,912	2,052
国内	18,188	16,702

アジア (▲5.1%)	・中国、韓国の自動車業界向けチューブ製品が低調 ・建設機械向けホース製品が低調
欧米 (▲29.5%)	・北米の自動車業界向けチューブ製品が低調 ・建設機械向けホース製品が低調
国内 ▲8.2%	・半導体製造装置向け製品が堅調 ・自動車業界向けチューブ製品が低調 ・建設機械向けホース製品が低調

カッコの数値は前年同期比増減率

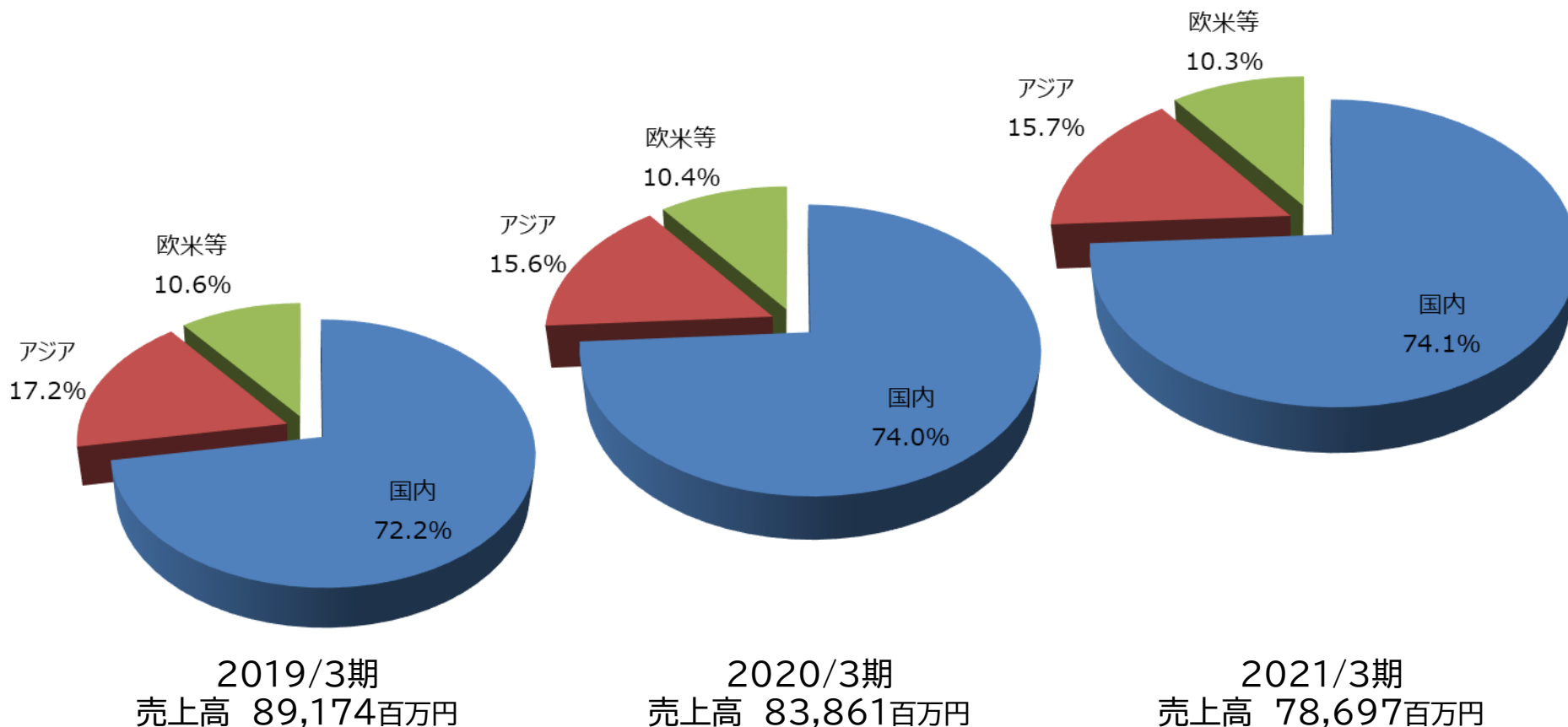
(百万円)



カッコの数値は前年同期比増減率

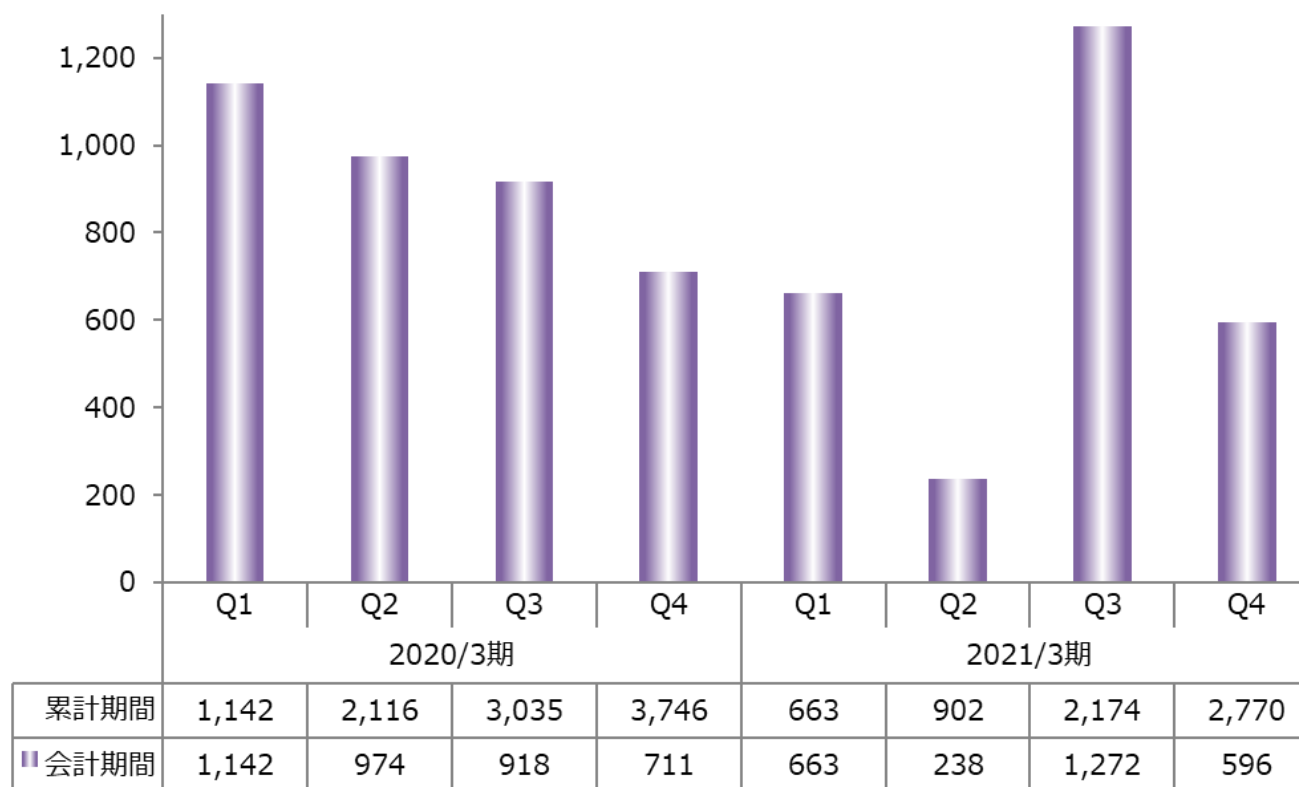
第2四半期以降、中国で経済活動が回復したため、海外売上高比率はほぼ前年と同様

海外売上高比率 27.8% → 海外売上高比率 26.0% → 海外売上高比率 25.9%



- ・第2四半期は、ゲイツコリアCO.,LTDの閉鎖に伴う費用の発生により利益が減少、
- ・第3四半期から中国での自動車業界向け需要が回復、第4四半期は合併契約における利益配分の見直しによる影響
- ・ニッタ・デュポングループの業績は、半導体需要が旺盛なことにより堅調

(百万円)



SHIFT
2030
SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing



THANK YOU.

中長期経営計画「SHIFT2030」 2021-30



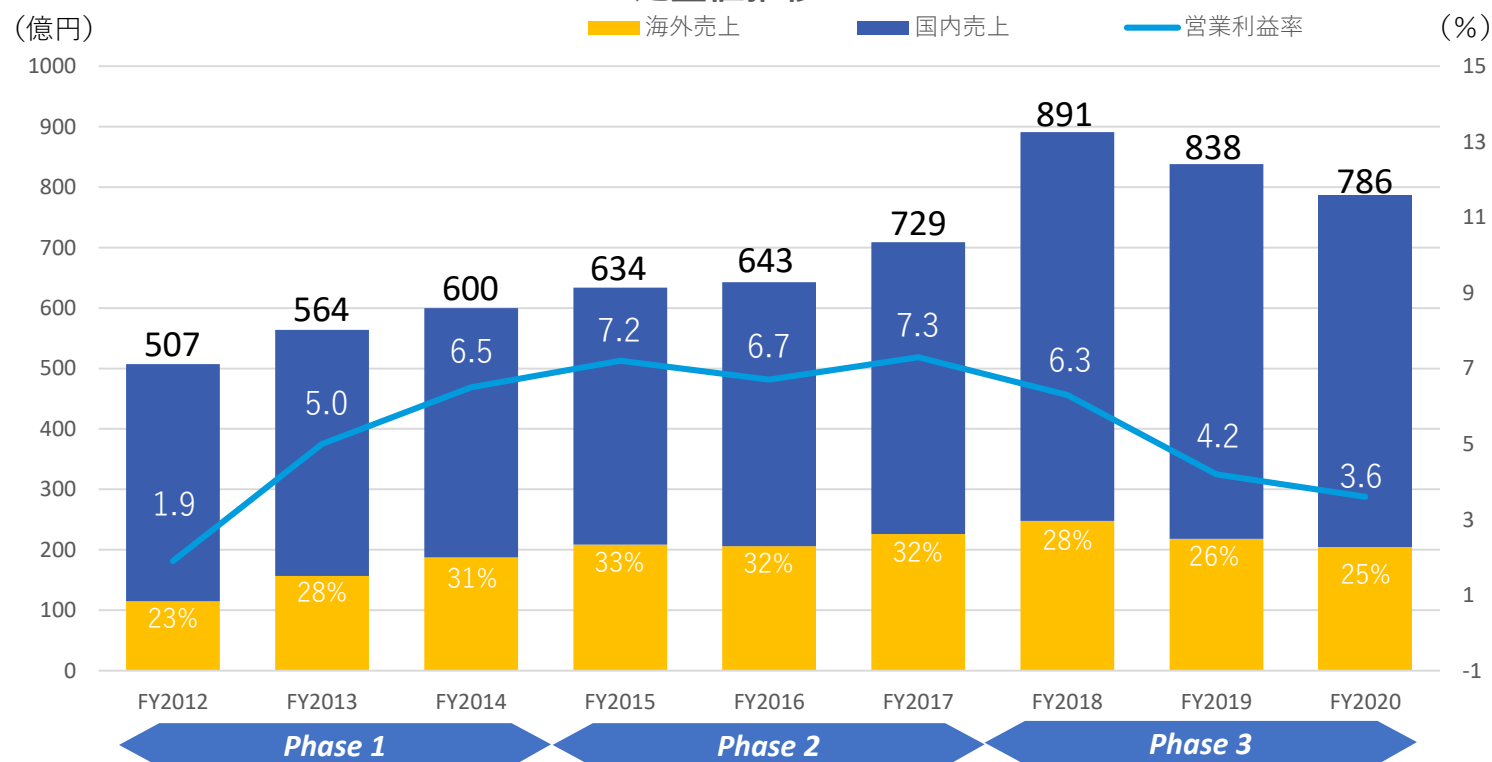
ニッタ株式会社

Copyright © Nitta Corporation All Rights Reserved.

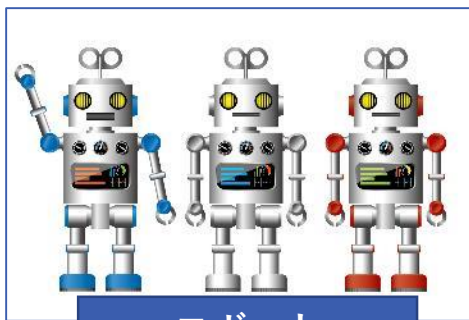


	V2020目標	FY2020実績	差異
売上高(億円)	1,000	786	△214
営業利益率(%)	8.0	3.6	△4.4
新事業・新製品売上比率(%)	25.0	28.2	3.2
海外売上高比率(%)	35.0	25.9	△9.1

V 2020定量値推移



①今後の成長が見込まれる市場



ロボット



スマートファクトリー



モビリティ

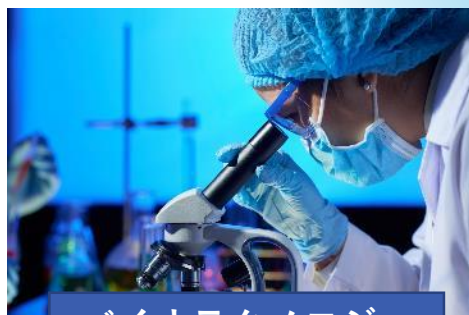


新エネルギー・電池

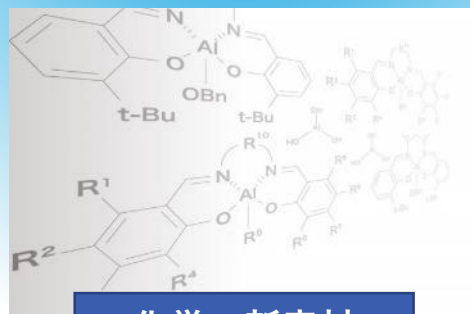


5G

成長市場 8分野



バイオテクノロジー



化学・新素材



AI

タイトル

SHIFT2030

ビジョンステートメント(10年後のあるべき姿)

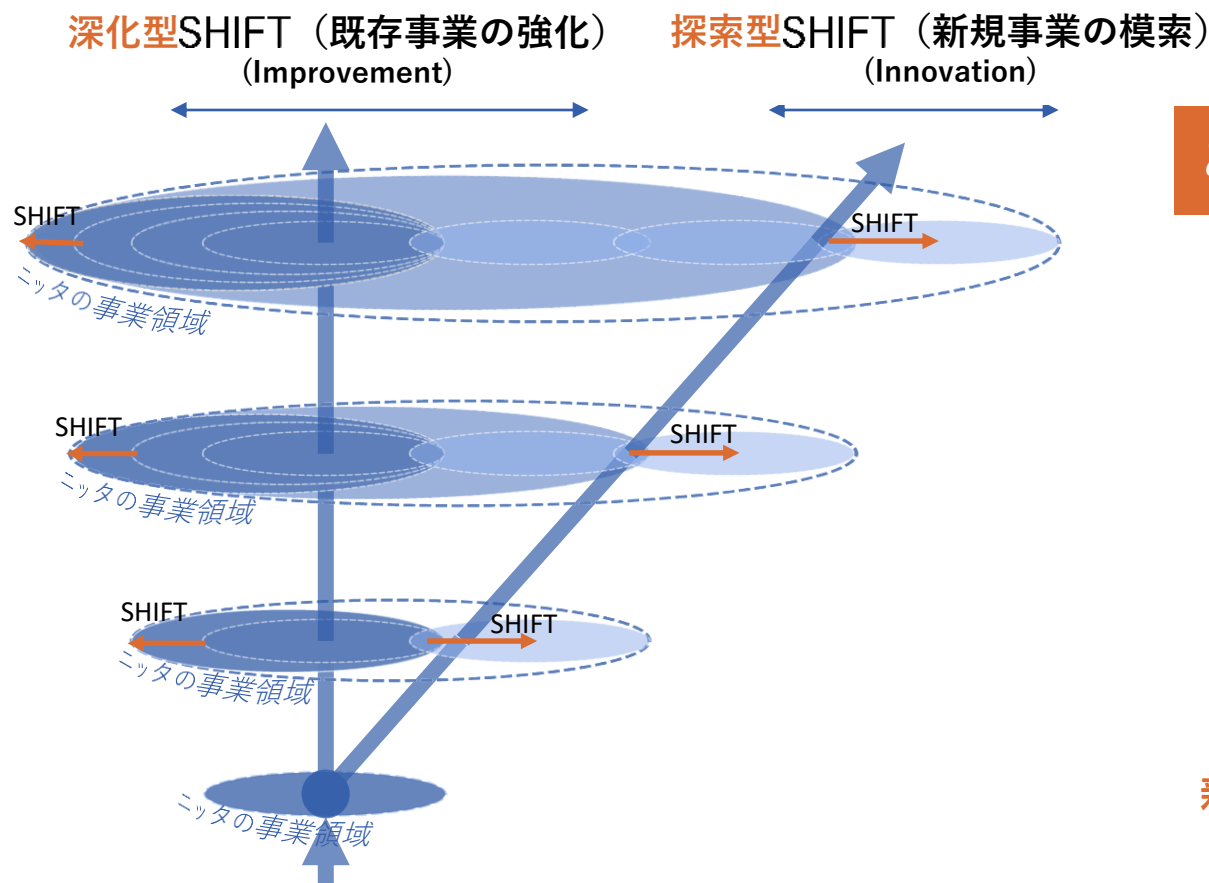
ものづくりを核としたシフトイノベーター

SHIFT INNOVATOR cored around manufacturing

③SHIFTとあるべき姿にこめた想い

SHIFT2030

ものづくりを核としたシフトイノベーター



あるべき姿にこめた想い

これからの10年は

ものづくりを核として
これまでの事業と技術を
強化し続け、

同時に、

これまでの事業と技術を
新たに広げイノベーション
を模索する

④定性目標：3大SHIFT

①成長へのSHIFT

SHIFT for Growth

- ・既存事業の持続的成長
- ・新事業の探索
- ・新製品開発の加速

②企業価値向上へのSHIFT

SHIFT for Corporate Value Enhancement

- ・品質及びトータルコスト競争力の向上
- ・コーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化
- ・ESG推進とSDGsのGoal達成

③更なるグローバル化へのSHIFT

SHIFT for Further Globalization

- ・各事業の更なるグローバル展開
- ・コーポレート部門によるグローバルサポート強化

⑤FY2030定量目標

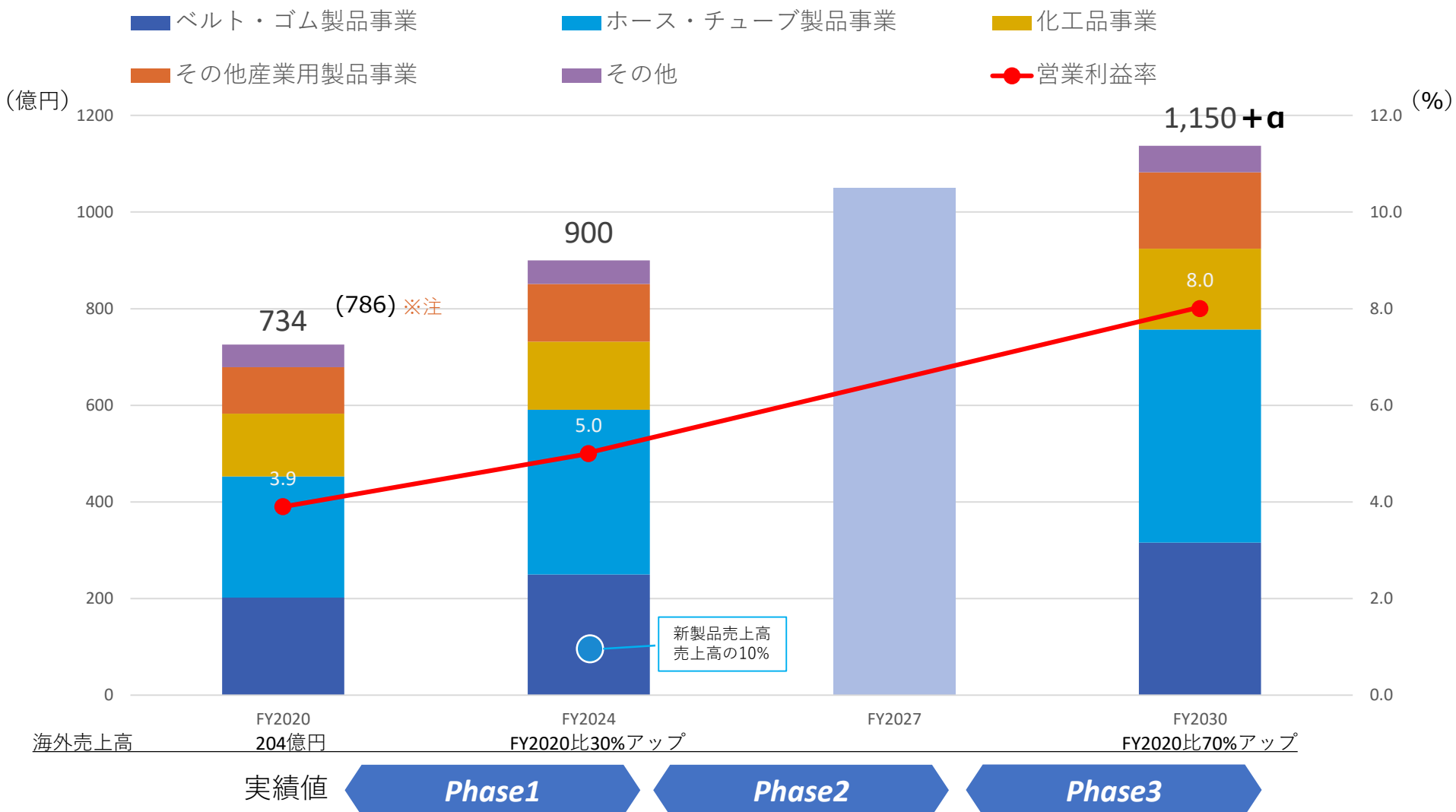
SHIFT2030 FY2030定量目標

売上高	営業利益率	新製品売上比率	海外成長率
1,150億円+α	8.0%	10.0%	170% ※FY2020比

設備投資額

Ph1 (2021～24)	Ph2 (2025～27)	Ph3 (2028～30)	合計
218億円	94億円	88億円	400億円

⑥定量目標マイルストーン



※注 当社はFY2021より「収益認識に関する会計基準」を適用します。
この会計基準をFY2020に適用したと仮定した場合、FY2020の連結売上高は734億円となります。
それに伴いFY2020の営業利益率も3.6%から3.9%になります。

⑦既存事業の強化

スマートファクトリー、ロボット
(物流・輸送、産業機械)

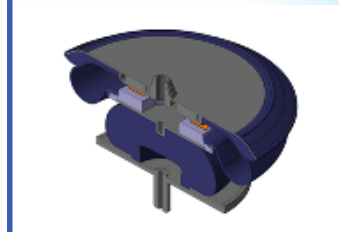
- 【ベルト・ゴム製品事業(ベルト)】
- ・「伝動」⇒「搬送」へのウエイトシフト
 - ・グローバルビジネスの更なる拡大



- 【ホース・チューブ製品事業(メカトロ)】
- ・自動車生産設備及び組立工場向け製品の開発と拡販

モビリティ
(自動車、鉄道)

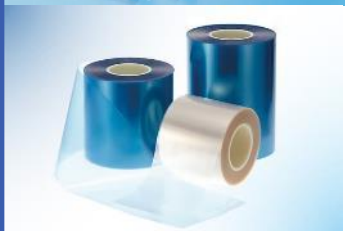
- 【ホース・チューブ製品事業(オート)】
- ・Fuel, エアブレーキ製品及びEV等の新エネルギー車関連製品の開発と拡販



- 【化工品事業(鉄道車両部品)】
- ・欧州圏での商流確立及び拡大体制の構築

5G、AI
(半導体、電子部品)

- 【ホース・チューブ製品事業(一般)】
- ・クリーン用途・液体冷却システム用途向け製品の開発と拡販



- 【その他産業用製品(デバイス機能材)】
- ・電子部品市場でのシェア拡大と提案型営業の強化

バイオテクノロジー
(環境、医療・ヘルスケア)

- 【その他産業用製品(クリーン機器)】
- ・環境負荷の低減に貢献する省エネ・省資源・省コスト製品の開発と拡販



- 【その他産業用製品(浪華ゴム工業)】
- ・再生医療機器への進出
 - ・海外生産拠点の確立

⑧新規事業の創出

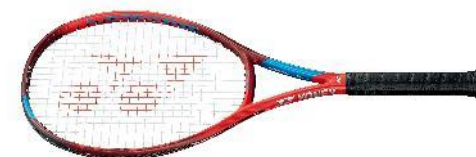
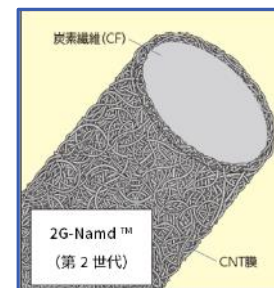
新事業の芽を生み出す

新しい仕組み作り

- ・ 従来型の仕組みの見直し・改善
- ・ 探索型を意識した新たな仕組みの構築
- ・ 深化と探索を両立する価値観の共有

新事業の芽を育てる

Namd



事業化プロジェクト立上げ
事業化へのスピードアップ

ソフトロボティクス
関連事業

再生医療関連事業



事業化プロジェクトに向けた調査・
研究開発を継続

⑨ロゴデザイン

ものづくりを核としたシフトイノベーターとして、これからの10年、既存の強化と共に新たな変化を恐れず羽ばたいていく様子を、三角を組合せた鳥をモチーフとし図形に表しました。



「イノベーションバード」
不揃い形状が緊張感、変化、挑戦を表す

青色；既存事業
黄色；既存事業の深化
赤色；新規事業の探索

SHIFT
2030
SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing



THANK YOU.